

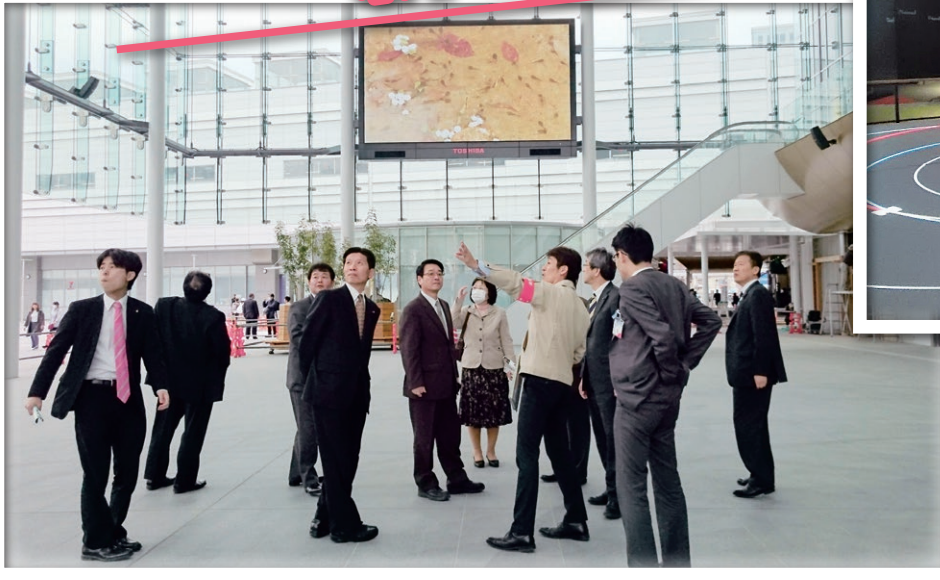
# 市議会だより

No.201

平成28年5月10日発行  
編集／発行  
福井市議会だより編集委員会  
福井市大手3丁目10番1号  
TEL.0776-20-5506



議員達も熱い期待を寄せる  
“新しい福井の玄関口”



上：福井駅西口広場の電車乗り場  
中：セーレンプラネット展示室内部  
下：ハピテラス（屋根付き広場）

3月

定例会

平成28年度当初予算を可決

3月定例会は繰り上げ招集され、2月23日から3月23日までの30日間の会期で開かれました。

今定例会では、「平成28年度福井市一般会計予算」をはじめとする各会計予算及び平成27年度各会計補正予算、「福井市福井駅前広場の設置及び管理に関する条例の制定について」、「福井市認定こども園設置条例の制定について」など市長提出の議案74件、報告3件を審議した結果、議案は72件を原案どおり可決、2件に同意し、報告は1件を承認、2件を受理しました。

また、請願、陳情については、今回提出された請願1件を審議した結果、採択することに決定しました。

さらに、議員提出議案として、「福井市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について」及び「福井市議会委員会条例の一部改正について」を審議した結果、原案どおり可決しました。また、「北朝鮮による拉致被害者問題の早期解決を求める意見書について」は、原案どおり可決し、関係機関に意見書を提出することに決定しました。

そのほか、市政に対する一般質問を23人の議員が行い、3月23日、予定した日程を全部終え閉会しました。



# 主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。  
議案等の審議結果は、10～11頁に掲載しています。

## 平成28年度当初予算

国の平成28年度当初予算は、雇用・所得環境の改善や景気回復の見通しから、まち・ひと・しごと創生事業費の確保や公共施設の老朽化対策の推進を含め、地方財源に平成27年度の水準を1,000億円上回る61兆7,000億円の一般財源総額を確保する内容となっています。

本市の当初予算編成は、「第六次福井市総合計画」の最終年度にあたることから、目指すべき施策の目標達成に向け、事業の着実な推進を基本としています。

す。人口減少社会の克服と地方創生の推進に向けた各種施策にも取り組み、限られた財源の中、創意と工夫により事業の選択と集中を徹底し、収支の均衡を図りながら、市勢の発展と市民生活の充実を見据えた未来志向予算として編成したものです。

(各会計予算は左記の表参照)

### 【予算のポイントとなる事業】 ①「ふくい」への新しい人の流れの実現に向けて

- ・インバウンド推進事業
- ・大河ドラマ誘致事業

平成28年度 一般会計・特別会計予算総括表

(単位:千円)

会計区分	予算額
一般会計	112,312,000
特別会計	
国民健康保険	28,210,000
国民健康保険診療所	4,300
後期高齢者医療	3,375,000
介護保険	24,218,000
競輪	12,264,000
簡易水道	369,000
宅地造成	3,744,000
中央卸売市場	859,000
駐車場	228,000
集落排水	872,700
地域生活排水	194,000
福井駅周辺整備	1,662,000
企業会計	
下水道事業	17,476,000
ガス事業	4,265,000
水道事業	8,792,000
合計	218,845,000

- ・地元企業就職サポート事業
- ・農林水産業U・Iターン促進事業
- ・居住推進支援事業
- ・中核市移行推進事業

### ②全国に誇れる「ふくい」の実現に向けて

- ・足羽山魅力向上事業
- ・名勝養浩館庭園魅力向上事業
- ・「一乗谷」ブランドイメージ向上事業
- ・一乗谷朝倉特急バス運行事業
- ・ガラガラ山周辺再整備事業

### ③個性豊かで笑顔あふれる地域の実現に向けて

- ・地域の魅力発信事業
- ・地域おこし協力隊事業
- ・里地・里山活性化事業
- ・小羽山整備事業
- ・多機能よろず茶屋設置モデル事業

## 平成27年度補正予算

今回の補正予算は、国の一億総活躍社会の実現に向けた喫緊の課題に呼応するもののほか、事業費の確定などに伴い措置するものです。消費喚起・安心の社会保障のための臨時福祉給付金給付事業をはじめ、地方創生を本格展開するためのふくい「魅える化」プロジェクト、優良建築物等整備支援事業など各種事業に取り組みため、一般会計で27億9,530万2,000円を増額するなど、補正後の予算額は全会計で2,223億

5,281万2,000円となります。

## 条例

○福井市福井駅前広場の設置及び管理に関する条例の制定について

本市の都市機能の向上を図り、福井駅の乗降客の利便に資するとともに、にぎわいと交流の場を創出するため、福井市福井駅前広場を設置するものです。

○福井市認定こども園設置条例の制定について

小学校就学前の子どもに対する教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を推進するため、幼保連携型認定こども園を設置するものです。

○福井の食の普及及び振興に関する条例の制定について

市、事業者及び市民が、福井の食を再認識し、それぞれの立場で普及及び振興に努めることにより、市民の豊かな食生活及び福井の食に関する事業の持続的な発展を図るものです。

○福井市部設置条例の一部改正について

福井市の行政機構の整備を図るものです。

## 市会案(議員提出議案)

### 条例

○福井市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について

○福井市議会委員会条例の一部改正について

### 意見書の提出

○北朝鮮による拉致被害者問題の早期解決を求める意見書について

## 人事案件

### 副市長

平成28年3月31日に任期満了となる副市長に山田義彦氏を再び選任することに同意しました。

### 教育委員会委員

平成28年2月19日に辞職した教育委員会の委員を補充するため、春木伸一氏を任命することに同意しました。

### 人権擁護委員

平成28年3月31日をもって任期満了となる松原司郎氏及び平成28年6月30日をもって任期満了となる藤井健夫氏、田村洋子氏、池上敏和氏を引き続き同委員候補者として推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

# 委員会審査

各特別委員会、各常任委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介いたします。  
(日程順に記載)

## 地域の活力創造対策特別委員会

《人・農地プランを活用した農業・農村の維持・活性化》

**問** 研修施設など新規就農者をフォローするような仕組みはあるのか。

**答** 福井県の園芸カレッジを卒業すると、地元の農家と一緒に一、二年の間農業を経験できる里親制度がある。また、研修施設についても検討していきたい。

《企業立地の取り組み》

**問** 北陸新幹線が開業する前に福井市に進出しようと考えている企業が多いとのことだが、これからの5年、10年を見据え、企業を誘致する準備はできているのか。

**答** 企業の希望にかなうような要件を一つでも多くそろえるべく、支援制度などを定める条例を3月定例会に提案したいと考えている。

## 県部の魅力創出対策特別委員会

《福井駅・城址周辺地区まちづくりガイドライン(素案)》

**問** まちづくりガイドラインの策定によって、市民が誇りをもてるまちにするため、市民や民間の提案をまちづくりにどのように反映させていくのか。

**答** まちづくりガイドラインは建てかえや共同化事業など今後のまちの変化を前提にするもので、地元で開催される勉強会等に行政も参加し、話を進めたいと考えている。また、土地利用のアンケート調査などから、共同化事業等の掘り起こしについても今後取り組んでいく。

《福井駅西口広場》

**問** コミュニティバスすまいるは、福井駅西口広場に乗り入れることに伴い、ルートを変更するのか。

**答** コミュニティバスすまいるは、4ルートとも、福井駅西口広場のほか、中央大通

## 建設委員会

《福井市自転車等の放置防止に関する条例の一部改正》

**問** 放置自転車に対する撤去等の措置を講じることができるとして、市の自転車等駐車場に、鉄道事業者が設置した自転車等駐車場を加えると対象の台数が増えるが、市の経費も増えるのか。

**答** 放置自転車の撤去、運搬は業者に委託をして行っているが、対象となる自転車等駐車場が増えても、従来の経費の中で賄える。

## 総務委員会

《福井市部設置条例の一部改正》

**問** 福井国体開催の平成30年度まで国体推進部の仕事は年々増えていくと思われるが、人員配置をどのように考えているのか。

**答** 現在の国体・障害者スポーツ大会推進室には22人を配置しているが、平成28年度は30人から40人を配置しなければならぬと考えている。実際に必要な人員については、新

りの現在のバス乗り場付近にも停留所を設けることから、福井駅周辺でルートが一部変更になる。

に設置する国体推進部と協議しながら決めていきたい。

**問** 危機管理室を総務部から市民生活部に移管する理由は何か。

**答** 安全で安心なまちづくりに関する施策を市民と一体となって進めていくには、危機事象が発生した場合の対応と地域の防犯・防災対策とを両面から捉えていかなければならないと考えており、災害ボランティアやNPO団体と連携することで自主防災組織の能力を高めるためである。

## 教育民生委員会

《福井子ども一時預かり所の設置及び管理に関する条例の一部改正》

**問** 子ども一時預かり所を福井駅西口再開発ビルハピリン内に設置するが、どのような人の利用を念頭においているのか。

**答** 買い物に來られた方や、これまで福井駅東口にあった子ども一時預かり所の利用者を念頭に置いている。



## 経済企業委員会

《福井市企業立地促進条例の全部改正》

**問** 条例改正により、他市町に比べて企業誘致がどの程度優位になると考えているのか。

**答** 最高交付限度額を現在の5億円から県内で最も高い8億円に引き上げたことをはじめ、対象業種全てについて市内企業の移設、増設を交付対象としたこと、また、雇用条件などの交付要件を緩和したことにより、県内他市や北陸主要都市と比べても魅力あるものとなっている。

《福井の食の普及及び振興に関する条例の制定》

**問** 条例を制定するに当たっての具体的な取り組みが示されていないが、福井の食が誰がどのようにアピールするのか。また、そのために市は何をするのか。

**答** まず市民の方には福井の美味しい食を再認識してもらい、福井を訪れる方々に福井の食を勧めてもらえるような取り組みを考えたい。また、事業者には条例の趣旨を説明し、福井の食の振興に向けた取り組みを一緒に進めていきたい。



# 一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、2月29日から3月2日までの3日間、23人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、( )内は会派名、質問内容は大項目を掲載しています。

(敬称略)

<p>① 今村 辰和 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市政運営について</li> <li>2 組織機構の改正について</li> </ol> 	<p>② 野嶋 祐記 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市長が考える3期目の市政運営について</li> <li>2 組織機構の改正について</li> </ol>	<p>③ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 インパウンドの取り組みとトップセールスによる成果の想定数値及びハビリンの免税手続一括窓口を開設する事の必要性について</li> <li>2 ハビリンの出店店舗への期待感とそのラインナップについて</li> <li>3 福井駅西口及び東口における駐車場減少による買い物客や商業者への悪影響について</li> <li>4 こしの国ケーブルテレビ事業の民間移譲について</li> </ol>
<p>④ 島川 由美子 (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 健康寿命の延伸と医療費の適正化について</li> <li>2 認知症対策について</li> <li>3 すべての女性が輝く社会づくりについて</li> <li>4 教育について</li> <li>5 居住推進支援事業について</li> </ol>	<p>⑤ 田中 義乃 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 福井市の観光について</li> <li>2 若者雇用について</li> </ol>	<p>⑥ 瀧波 滋 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 除雪について</li> <li>2 ショッピングセンターでの期日前投票の成果と課題について</li> <li>3 足羽川左岸(橋南地区)のまちづくりについて</li> </ol>
<p>⑦ 片矢 修一 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 フェニックス・プラザへの市民福祉会館機能移転について</li> <li>2 財政健全化について</li> <li>3 福井市観光振興計画(素案)について</li> <li>4 福井市景観計画及び福井駅・城址周辺地区まちづくりガイドライン(素案)について</li> </ol>	<p>⑧ 鈴木 正樹 (日本共産党議員団)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 福井市の貧困対策について</li> <li>2 地域経済を守る取り組みについて</li> </ol>	<p>⑨ 近藤 實 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 東村市長の選挙公約の実現について</li> <li>2 平成28年度予算について</li> <li>3 企業立地戦略について</li> <li>4 福井市東部の発展に向けた取り組みについて</li> <li>5 未来づくり推進局、観光文化局を若い人の組織とすべきことについて</li> <li>6 結婚についての教育について</li> </ol>
<p>⑩ 池上 優徳 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 施設園芸について</li> <li>2 養殖業、栽培漁業の中間育成施設について</li> </ol>	<p>⑪ 吉田 琴一 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 北陸新幹線の福井先行開業に向けた進捗状況について</li> <li>2 私立及び公立の幼保連携型認定こども園への移行について</li> <li>3 自治会未加入者への対策について</li> </ol>	<p>⑫ 中村 綾菜 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子育て支援について</li> <li>2 ストリートカルチャーと若者のにぎわいづくりについて</li> <li>3 食育、木育について</li> <li>4 福井しあわせ元気大会(全国障害者スポーツ大会)について</li> </ol>
<p>⑬ 下畑 健二 (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 公営企業の経営改革について</li> <li>2 ふるさと納税について</li> <li>3 福井しあわせ元気国体について</li> <li>4 ホスタウン制度の活用について</li> <li>5 雇用の促進について</li> </ol>	<p>⑭ 村田 耕一 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新年度から取り組む新たな施策について</li> <li>2 本市の環境美化行政について</li> <li>3 福井市役所に勤務する非正規職員について</li> <li>4 本市における家庭教育支援について</li> </ol>	<p>⑮ 八田 一以 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 福井市の農業に対する戦略について</li> </ol> 
<p>⑯ 皆川 信正 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 福井市ふれあい公社について</li> <li>2 選挙について</li> <li>3 中心市街地のまちづくりについて</li> <li>4 市役所正面玄関について</li> </ol>	<p>⑰ 西村 公子 (日本共産党議員団)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 2016年度福井市予算編成について</li> <li>2 市町村合併の検証と今後の取り組みについて</li> <li>3 学校教育について</li> </ol>	<p>⑱ 奥島 光晴 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 福井駅・城址周辺地区まちづくりガイドライン(素案)について</li> <li>2 希望を持ち、夢を育み、郷土に誇りを持つ教育について</li> </ol>
<p>⑲ 福野 大輔 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 公立の認定こども園について</li> <li>2 空き家対策について</li> <li>3 不法投棄(ポイ捨て)対策について</li> </ol>	<p>⑳ 青木 幹雄 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「ふくい」への新しい人の流れの実現について</li> <li>2 全国に誇れる「ふくい」の実現について</li> <li>3 未来に拡がる元気な産業づくりについて</li> </ol>	<p>㉑ 水島 秀晃 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 U・Iターン者向けの施策について</li> <li>2 福井市における林業の展望について</li> </ol>
<p>㉒ 玉村 正人 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 音楽室エアコン設置事業について</li> <li>2 生活困窮家庭の子どもの学習支援について</li> <li>3 福井市民福祉会館及び福井市文化会館について</li> <li>4 三秀プールの今後の取り扱いについて</li> </ol>	<p>㉓ 菅生 敬一 (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域担当職員制度について</li> <li>2 市民サービス向上のための専門性を持つ職員の採用について</li> <li>3 介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)について</li> <li>4 まちの美観維持について</li> </ol>	

新しいごみ焼却施設は、平成38年度から稼働できるよう計画しており、建設地については現在検討している。

また、有害鳥獣の処分についての対策は急務となっており、今後、動物専用炉のあり方について市民生活部と農林水産部とが連携して検討していく。

## 回答

また、今後さらに増えていくと予想される鳥獣害の対策として、捕獲した小動物の焼却炉の併設は考えていないのか。

また、今後さらに増えていくと予想される鳥獣害の対策として、捕獲した小動物の焼却炉の併設は考えていないのか。

## 質問

## クリーンセンターについて



いまむら しんかず

今村 辰和 議員

一真会

## 一般質問要旨

福井市のまちづくりについて



のじま ゆうき  
**野嶋 祐記** 議員  
志政会

質問

市長の3期目の当選にあたり、今後4年間の市政運営で、どのような福井市のまちづくりを目指すのか。  
また、平成31年4月に予定している中核市移行については、どのように進めるのか。

回答

未来を担う子ども達が希望を持ち、誰もが安心して暮らせる全国に誇れる福井を実現するため、福井の強みや良いところの活用、市民協働による地域力のアップ、スピード感のある戦略的な政策を基本姿勢としてまちづくりを進めていく。  
中核市については、平成28年度から推進本部を立ち上げ、中核市準備室や県との連絡会議を設置し、本格的な協議を開始する。平成29年度からは、県との人事交流や移譲事務の引継ぎ、法的手続きを進めていく。

免税手続き一括窓口の開設の必要性について



ほりかわ ひでき  
**堀川 秀樹** 議員  
市民クラブ

質問

インバウンドやトップセールスにより、外国人観光客が多く来福することが見込まれる中、個店で免税手続きができる単価の高い店舗以外は、複数の店舗でのレシート合計額が規定額を超えても免税手続きができず、クレームやトラブルの要因となる。ハピリンに、アオッサやプリズム福井、駅前各商店街の免税手続き一括窓口を開設するべきではないか。

回答

外国人観光客の市内における旅行消費を増やす動機づけとして、免税手続きの一括窓口の開設は有効だと考えているが、まだ窓口設置に向けての機運が十分ではない。今後機運が高まってくれば、市がコーディネート役を担っている。

認知症高齢者ひとり歩き模擬訓練について



しまかわ ゆみこ  
**島川 由美子** 議員  
公明党

質問

認知症患者の増加が予想される中、地域ぐるみで認知症への理解を深め、同居する家族が安心できるまちづくりを目指して、認知症高齢者ひとり歩き模擬訓練の実施が全国でも広がっている。本市でも全ての地区で取り組んでみてはどうか。

回答

本市では平成26年度からこれまで宝永地区、社南地区で認知症高齢者ひとり歩き模擬訓練を実施し、現在六条地区で実施に向けて準備を進めている。  
今後は市とほやねっと（地域包括支援センター）が中心となり、地域の団体や住民、あんしん見守りネットワーク協力事業所等の協力も得ながら全地区で開催したいと考えている。

若者の雇用について



たなか よしのり  
**田中 義乃** 議員  
一真会

質問

将来を担う若い世代は所得が低く生活に余裕がないため、将来に希望を持っていないことから、結婚、出産に踏み切れない若者が増え、少子化の一因となっている。適正な職場で息長く経験を積める場を提供する施策が必要と考えるが、非正規労働者の正規労働者への転換、キャリアアップ支援など若者の所得改善や雇用促進に向けての本市の施策は。

回答

本市では福井市若年者正規雇用奨励金事業を実施しており、平成27年度は1月末現在で51人の正規雇用につながった。また、平成28年度は、国のキャリアアップ助成金の対象企業に本市が独自で追加支給する福井市若年者キャリアアップ助成金事業の新設を予定している。

足羽川左岸（橋南地区）のまちづくりについて



たきなみ しげる  
**瀧波 滋** 議員  
志政会

質問

橋南地区は福井市中心部に極めて近い地域であるが、中心部に比べると都市整備が後回しになっていると感じる。橋南地区の特性を生かしたまちづくりについての市の考えは。

回答

福井市都市計画マスタープランでは地域を支える拠点として、公共交通の利便性が高く、日常生活に必要な機能の集積を誘導する場所として地域拠点を位置付けており、市街地南部地域ではベル前駅周辺を地域拠点としている。今後の市街地南部地域のまちづくりには、この地域拠点の形成と、市街地の緑豊かな自然と鉄道等の公共交通を生かし、歴史と文化が調和した交流のあるまちづくりを進めたい。



かたや しゅういち

片矢 修一 議員

市民クラブ

福井市観光振興計画（素案）  
について

質 問

観光地の整備計画のうち、足羽山魅力向上事業の内容と目指す足羽山の姿は。  
また、新たに設けるまちなか観光周遊バスの運行頻度、ルート及び運賃はどのようになるのか。

回 答

植物園前の駐車場整備や、道路舗装の更新等を行い、まちなかで身近に自然に出会える「空と森の出会い空間」などの特徴を生かした魅力的な空間を形成していく。  
まちなか観光周遊バスは、3月と、5月から11月までの土日祝日に1日16便、福井駅東口から北の庄城址公園近くを通り泉橋を渡り足羽山へ行き、浜町、片町を通り、郷土歴史博物館、福井城址を經由し福井駅東口に戻るルートで、運賃は200円で運行する。



すずき しょうじゅ

鈴木 正樹 議員

日本共産党議員団

お金がなくて病院にかかれなうことを防ぐ

質 問

金沢市などでは生活保護基準の120%の収入まで医療費の一部負担金を免除している。これは生活保護基準より少し収入が多いだけで医療費の一部負担金の免除が受けられず、必要な医療を受けられない事態を防ぐためであるが、本市もこのような制度をつくるべきではないか。

回 答

本市における国民健康保険の一部負担金減免は世帯収入が生活保護世帯以下とする国の基準と同様である。この基準を上回る制度に拡充した場合は、拡充分の全額を被保険者からの国保税で賄うこととなるため、更なる税負担が生じることから、生活保護基準額を上回る拡充は考えていない。



こんどう みのる

近藤 實 議員

志政会

未来づくり推進局、観光文化局は若い人の組織とすべき

質 問

今回大きな組織機構改革が行われ、新しい局が三つできるが、未来づくりには斬新な感性、発想、アイデアが重要で、若い職員の見解を聞くことが大切であることから、未来づくり推進局、観光文化局は20代、30代、40代前半までの若い職員による組織とすべきと考えるが、市の見解は。

回 答

新設する局の局長には、豊富な知識と経験に加え、強いリーダーシップと高度なマネジメント能力が求められることから、これまでの経歴や適性、能力などを総合的に判断しながら適材適所の職員配置に努める。  
また、局内の職員については、斬新で自由な発想を市政に生かせるよう意欲ある若手職員を積極的に配置していく。



いけがみ まさのり

池上 優徳 議員

一真会

養殖業、栽培漁業の中間育成施設について

質 問

本市のブランド力強化のため、市の遊休資産であるフィッシングセンター跡地をトラウトサーモン幼魚の中間育成施設として活用することや、国内外で需要の高いアワビ、中国や香港で人気のナマコなどの栽培漁業の中間育成施設、また定置網で獲れた活魚の出荷前の一時ストック施設として活用できないか。

回 答

フィッシングセンター跡地の既存施設は、建設から40年が経過し、施設の老朽化が著しく、改修に多額の費用がかかる。また、トラウトサーモンを育成できる収容能力がないことなどから、中間育成施設としての活用や、他用途での活用も難しい。



よしだ きんいち

吉田 琴一 議員

市民クラブ

自治会未加入者への対策について

質 問

本市の自治会加入率は何%を目指しているのか。また、自治会未加入者が増えることによる行政上の問題は何か。  
また、組織機構の改正により地域担当職員を配置することになったが、未加入者対策に取り組める体制はできないか。

回 答

自治会加入率は、第六次福井市総合計画で平成28年度が目標値を80%としている。  
また、自治会未加入者が増えることによる行政上の問題点として、防犯や防災、災害時の助け合いなど地域に根ざした活動への影響や、住民の意見や要望が市政に十分に反映されないことが懸念される。  
今後の未加入者対策については、新たに配置する地域担当職員が把握した地域の情報を活用し、地域の実情に応じた効果的な対策を講じていく。



子育て支援について



なかむら あやな

中村 綾菜 議員

市民クラブ

質問

福井市は雨の日が多いことから、屋内の遊び場をつくれなから、また、土日にも子育て支援センターを利用したいとの声を聞くが、土日に開設することはできないか。

さらに、センターの一角に木育ルームを設置できないか。

回答

屋内の遊び場については、まずは子育て支援センター等の施設を優先して整備する。子育て支援センターは市内12カ所のうち、アオッサを除く3カ所が毎週土曜日に、1カ所が月1回土曜日に開設している。今後は、保護者のニーズを把握し、他の施設でも土日の開設が可能か検討していきたい。

また、木育ルームについては、その必要性も含めて検討していく。

水道料金の改定見通しについて



しもばた けんじ

下畑 健二 議員

公明党

質問

全国的に水道料金を値上げする自治体が増えている。本市の水道料金は全国の県庁所在地の中で最も安いという点だが、現在は月平均でどのくらいか。

また、今後の料金改定の見通しについて、市の見解は。

回答

本市の水道料金は、全国の県庁所在地の月平均2,748円に対して、1,814円で、県庁所在地の中で最も安くなっている。

しかし、節水機器の普及や人口減少により水需要が減る一方、水道施設の更新や耐震化の必要があり、今後は経費の増加が見込まれる。将来的には値上げは避けられないと考えるが、その時期については、今後の投資規模等を精査する中で改めて検討していく。

本市に勤務する非正規職員について



むらた こういち

村田 耕一 議員

市民クラブ

質問

複雑化する行政ニーズに対応するとともに、非正規職員のモチベーション向上のために、勤務実績や勤務年数に応じた賃金体系等の制度が必要ではないか。

また、現場の活性化の観点から、有能な非正規職員を正規職員として登用する制度があってもよいのではないか。

回答

非正規職員は任用期間が短いため、長期的な任用に対応した昇給等は行っていないが、職務内容に応じた賃金体系を設けるとともに、賃金単価は正規職員の給与に対応した見直しを行っている。

なお、正規職員は全て競争試験で採用しているが、平成27年度から年齢要件を35歳まで引き上げており、非正規職員も33人が受験した。

福井市の農業戦略について



はた いちい

八田 一以 議員

一真会

質問

本市の農業は、凋落し低迷しているが、福井市の人口ビジョン・総合戦略には6次産業化の施策がない。農家所得を増やす施策はあるのか。

また、市長は農業分野でこそ、とがったことを目指すべきと考え、見解は。

回答

今年度は、園芸作物の生産拡大や農地の集積化、農林水産物のブランド化などにより、農業所得の向上を図り、継続できる農業の確立を目指す。

農業分野では様々な施策により地域全体を底上げすることが重要である。その中で今年度から、ミニ農家レストラン等の整備や6次産業化に対し支援する「里地・里山活性化事業」を4地域で展開し、今後も対象地区を広げること、地域の活性化を目指す。

市役所本館正面玄関への車寄せ設置について



みながわ のぶまさ

皆川 信正 議員

一真会

質問

県内外からのお客様やタクシー等で来庁される市民のほとんどが正面玄関ではなく横の入り口から入館されている。おもてなしの心、市民サービスの向上などの観点から、正面玄関ポーチに車寄せをつくり、来庁される方をお迎えするべきではないか。

回答

現在、市庁舎の敷地内で別館の耐震改修工事を行っており、今後は工事車両の出入りも増加することから、当面は来庁者の利便性、安全性の確保を第一に考える必要がある。さらに、身障者用駐車場の確保や、中央公園とのつながりといった課題もあることから、総合的に検討したいと考えている。



にしむら きみこ  
**西村 公子** 議員  
日本共産党議員団

市民負担を増やす国保税の値上げは撤回を

質問

東村市長が行ってきた過去3回の国保税の値上げで市民負担は15億2,000万円も増加している。また、滞納世帯もここ6年間で1,300世帯も増加している。

国保加入者の大半が低所得者であることから市の繰り入れや国、県からの支援を求め、今回の1億円余りの値上げは撤回するべきではないか。

回答

今回、一般会計からの繰り入れを2億2,500万円増額している。収支の不足分の全額を一般会計から補填することは、国民健康保険に加入していない市民の理解を得ることは難しいと考える。

また、国への要望については引き続き行っていくが、県は市町村国保の財政健全化に対する責務が規定されていないため、要望を行っていない。



おくしま みつはる  
**奥島 光晴** 議員  
一真会

希望を持ち、夢を育み、郷土に誇りを持つ教育について

質問

福井の子ども達は全国体力テストにおいて日本トップレベルの成績を収めているが、先の都道府県対抗駅伝競走大会では悔しい結果となった。過去に行われていた足羽山縦走駅伝大会のように子ども達を檜舞台に立たせてあげることが必要であると考え、市の見解は。

回答

足羽山縦走駅伝は、足羽山のトンネルが開通したことなどにより交通量が増加し、安全な運営が困難になったことや学校行事の見直しにより、平成7年度をもって開催されなくなった。

公道を使つての駅伝は安全面から開催が困難であるが、子ども達は学校の看板を背負って出場するので、どのコースであれ、檜舞台になると考えている。



ふくの だいすけ  
**福野 大輔** 議員  
一真会

公立の認定こども園について

質問

4月から文殊、六条地区では既存の保育園園舎に認定こども園が開設されるが、小学校校舎内の幼稚園園舎はどのように活用していくのか。

また、平成29年度以降の他地区における、公立の認定こども園化についての予定は。

回答

文殊、六条地区の幼稚園施設については、認定こども園開設後は空き教室となるが、小学校への円滑な接続を図ることは重要と考えており、小学生との交流の場として利用していく。

また、再来年度以降の認定こども園化については、平成29年度に鶉及び粟地区で、いずれも保育園施設を改修するなどして開設する。麻生津地区など残りの5地区については、開設年度や開設方法等を検討中である。



あおき みきお  
**青木 幹雄** 議員  
志政会

全国に誇れる「ふくい」の実現について

質問

「十七条の憲法」を作られた聖徳太子は、継体天皇のひ孫に当たる。継体天皇を「福井」の誇りとして、さらなる取り組みを進めることが重要だと考えるが、市の考えは。

また、核家族化が進展する日本社会の中で、本県、本市は三世代同居の割合が高い。政府も三世代同居率を高める施策を進めるとしているが、本市の取り組みは。

回答

継体天皇の伝説や逸話を歴史資源として、ストーリー性を持たせて発信することで足羽山の魅力向上に取り組み。

また、三世代同居は、子育てに関する問題を初め、プラスに働く面があると考えている。強制するのは難しいが、良い面があることを知ってもらうのは大事だと考えている。



みずしま ひであき  
**水島 秀晃** 議員  
志政会

福井市における林業の展望について

質問

福井市の新年度の林業に関する事業や予算といった計画について、国や県主導ではなく、本市が単独で行う施策として、新たに増える事業にはどのようなものがあるのか。

また、本市の林業に対する今後の目標や展望は。

回答

林業に関する市単独の新規事業としては、自伐林家育成事業、農林水産業U・イターン促進事業、小羽山整備事業、木育事業がある。

また、今後は今年度に策定した福井市林業・水産業プランにおいて、伐る森林整備を推進するため、5年間の間伐面積の目標値を2,000ha、公共工事における木材利用の目標値を1,250㎡とするなど、多面的機能が持続的に発揮され、資源が循環利用できる森林づくりを目指す。



小・中学校の学習環境の改善について



たまむら まさと  
玉村 正人 議員  
市民クラブ

質問

小・中学校の音楽室の暑さ対策はどう考えているのか。また、音楽室以外の特別教室の暑さ対策はどうするのか。

回答

小・中学校の音楽室の暑さ対策として、平成28年度からエアコンの設置を行う。平成28年度は、使用頻度及び窓を開放して授業を行うと合唱の声や合奏の音が近隣住民の迷惑となる場合が多いことを考慮して、中学校への設置を優先して行う。また、その後、小学校の音楽室への設置を行う予定をしている。

音楽室以外の特別教室の暑さ対策については、扇風機を増設したり、普通教室を活用したりするなど、当分の間は授業の運用面で工夫することによって対応していく。

地域担当職員制度について



すごう けいいち  
菅生 敬一 議員  
公明党

質問

新年度の新規事業として、地域担当職員制度を導入するが、この制度を導入するに至った背景と目的は。また、この職員の具体的な業務内容は。

回答

近年、少子・高齢化や連帯意識の希薄化が進行する中で、身近な地域を取り巻く課題は複雑化、多様化している。そこで、市職員がよりきめ細かく地域に関わり、地域の実情を把握し、行政施策に反映させるとともに、住民と連携して課題解決に当たるための体制づくりを目的に地域担当職員制度を新設する。

また、地域担当職員の具体的な業務内容は、平成28年度に新たにスタートする「地域の魅力発信事業」の企画・立案や実施運営等に参画し、地域に向けて行政情報の提供や助言等、必要な支援を行う。

予算特別委員会

各党派における主な質疑内容を紹介いたします。

一真会

見谷喜代三 奥島 光晴  
谷本 忠士 八田 一以  
池上 優徳

企業立地

Question  
今回の本市の提案は国家戦略特区に指定されなかったが、今後、特区の提案をどのように検討していくのか。

Answer  
国家戦略特別区域諮問会議では、本市と同様に指定されなかった鳥栖市の提案に対して、次回の指定につなげていくべきとの意見が出された。鳥栖市の提案は本市と類似する点があるため、今後の提案の参考にしたい。また、本市は平成27年度には、南海トラフ地震に備える視点で提案したが、平成28年度は地方創生、中核市移行を見据えた周辺市町との連携を視点に加え提案内容を考えていきたい。

志政会

加藤 貞信 青木 幹雄  
藤田 諭 水島 秀晃  
近藤 實

人口減少対策・少子化対策

Question  
福井市人口ビジョン・総合戦略では子どもの合計特殊出生率を2025年に1.8%、2035年に2.0%にする

Answer  
とあるが、合計特殊出生率を上げるためにいつ頃を目標にどのような施策を展開していくのか。計画期間を5年間とする総合戦略において、合計特殊出生率の全国トップクラスを維持することを目標に、若者の出会いの場の創出などの結婚に関する支援や妊婦健康診査などの出産に関する支援、幼稚園の認定こども園化や子育て支援センターの増設など安心して子どもを育てられる環境の充実に取り組むたい。

市民クラブ

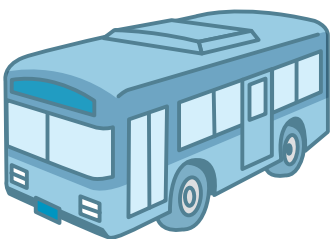
吉田 琴一 中村 綾菜  
片矢 修一

バス運行の支援

Question  
福井駅西口のバスターミナルの完成に合わせ、福井駅から800メートル圏内の京福バスの運賃を従来の200円から100円に値下げすること

Answer  
のことだが、その狙いは何か。また、運賃の値下げにより京福バスの収支はどうなるのか。今回の値下げは、これまでバス利用者がほとんど

いなかった中心市街地における短区間の利用者を増やすことを狙いとしている。この区間で新たな利用者を獲得することにより、京福バスの収支状況も良くなるかと考えている。



公明党

下畑 健一

●高齢者への生活支援拡充

**問** 新年度における高齢者へのごみ出しに対する支援についてはどのように考えているのか。

**答** 平成27年度は、介護サポートポイント制度を利用したモデル事業として、湊地区を対象に高齢者へのごみ出しの支援を行っている。新年度では、モデル事業の活動者や利用者の声を踏まえながら、市内全地区を対象を広げ、ごみ出し以外の活動メニューについても拡大していきたい。

日本共産党議員団

西村 公子

●介護予防・日常生活支援総合事業

**問** 平成29年度から実施予定の介護予防・日常生活支援総合事業は、現在の介護サービスの質を維持できるのか。

**答** 平成29年度からも、引き続き、現在行っている予防給付と同等の基準によるサービスを実施し、その上で、新たに予防給付の基準を緩和したサービス等を実施することになる。

新たなサービスの基準については、国のガイドラインや地域包括ケア推進協議会等での意見をもとに適正な基準を設定し、介護サービスの質を維持したい。

(3月定例会)

議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (賛否状況は11頁に掲載)
第1号議案	平成28年度福井市一般会計予算	3月23日	原案可決	●
第2号議案	平成28年度福井市国民健康保険特別会計予算	〃	〃	●
第3号議案	平成28年度福井市国民健康保険診療所特別会計予算	〃	〃	●
第4号議案	平成28年度福井市後期高齢者医療特別会計予算	〃	〃	●
第5号議案	平成28年度福井市介護保険特別会計予算	〃	〃	●
第6号議案	平成28年度福井市競輪特別会計予算	〃	〃	●
第7号議案	平成28年度福井市簡易水道特別会計予算	〃	〃	●
第8号議案	平成28年度福井市宅地造成特別会計予算	〃	〃	●
第9号議案	平成28年度福井市中央卸売市場特別会計予算	〃	〃	●
第10号議案	平成28年度福井市駐車場特別会計予算	〃	〃	●
第11号議案	平成28年度福井市集落排水特別会計予算	〃	〃	●
第12号議案	平成28年度福井市地域生活排水特別会計予算	〃	〃	●
第13号議案	平成28年度福井市福井駅周辺整備特別会計予算	〃	〃	●
第14号議案	平成28年度福井市下水道事業会計予算	〃	〃	●
第15号議案	平成28年度福井市ガス事業会計予算	〃	〃	●
第16号議案	平成28年度福井市水道事業会計予算	〃	〃	●
第17号議案	福井市福井駅前広場の設置及び管理に関する条例の制定について	〃	〃	●
第18号議案	福井市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について	〃	〃	●
第19号議案	福井市行政不服審査法施行条例の制定について	〃	〃	●
第20号議案	福井市消費者センターの設置及び管理に関する条例の制定について	〃	〃	●
第21号議案	福井市認定こども園設置条例の制定について	〃	〃	●
第22号議案	福井の食の普及及び振興に関する条例の制定について	〃	〃	●
第23号議案	福井市工場立地法に基づく緑地等に関する準則を定める条例の制定について	〃	〃	●
第24号議案	福井市企業立地促進条例の全部改正について	〃	〃	●
第25号議案	福井市ガラガラ山総合公園の設置及び管理に関する条例の全部改正について	〃	〃	●
第26号議案	福井市農業委員会に関する条例の全部改正について	〃	〃	●
第27号議案	福井市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第28号議案	福井市自転車等の放置防止に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第29号議案	福井市部設置条例の一部改正について	〃	〃	●
第30号議案	福井市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第31号議案	福井市職員等旅費支給条例及び福井市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第32号議案	福井市非常勤の特別職職員の報酬等に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第33号議案	職員の退職手当に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第34号議案	福井市情報公開条例及び福井市個人情報保護条例の一部改正について	〃	〃	●
第35号議案	福井市固定資産評価審査委員会に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第36号議案	福井市市税賦課徴収条例の一部改正について	〃	〃	●
第37号議案	福井市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備、運営等に関する基準を定める条例等の一部改正について	〃	〃	●
第38号議案	福井市児童館条例の一部改正について	〃	〃	●
第39号議案	福井市社会福祉施設設置条例の一部改正について	〃	〃	●
第40号議案	福井市市税賦課徴収条例の一部改正について	〃	〃	●
第41号議案	福井市簡易水道等給水条例の一部改正について	〃	〃	●
第42号議案	福井市建築審査会条例の一部改正について	〃	〃	●
第43号議案	福井市手数料徴収条例の一部改正について	〃	〃	●
第44号議案	福井市農村活性化施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第45号議案	福井市火災予防条例の一部改正について	〃	〃	●
第46号議案	福井市ガス供給条例の一部改正について	〃	〃	●
第47号議案	福井市簡易ガス供給条例の一部改正について	〃	〃	●
第48号議案	福井市公民館設置に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第49号議案	新市まちづくり計画の変更について	〃	〃	●
第50号議案	福井市過疎地域自立促進計画の策定について	〃	〃	●
第51号議案	福井県市町総合事務組合規約の変更について	〃	〃	●
第52号議案	副市長の選任について	〃	同意	●
第103号議案	平成27年度福井市一般会計補正予算	〃	原案可決	●
第104号議案	平成27年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	〃	〃	●
第105号議案	平成27年度福井市後期高齢者医療特別会計補正予算	〃	〃	●
第106号議案	平成27年度福井市介護保険特別会計補正予算	〃	〃	●



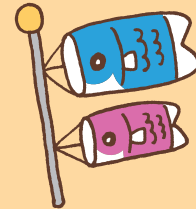


## 議会日誌 (平成28年1～3月)

1月19日	議会運営委員会
20日	福井県市議会議長会議員研修会
28日	全国競輪主催地議会議長会役員会
2月 1日	福井県市議会議長会定期総会 (小浜市)
9日	全国市議会議長会第202回理事会、 第100回評議員会 (東京都)
	北信越市議会議長会理事会 (東京都)
12日	地域の活力創造対策特別委員会
	県都の魅力創出対策特別委員会
16日	議員全員協議会
	議会運営協議会
17日	福井県市町振興協会理事会
19日	福井県市町総合事務組合議会
	福井県自治会館組合議会定例会
	後期高齢者医療広域連合臨時会
3月25日	後期高齢者医療広域連合定例会
29日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会全員協議会、 第165回定例会 (あわら市)

## 3月定例会

2月23日	本会議
24日	議会運営委員会
29日	本会議 (一般質問)
3月 1日	本会議 (一般質問)
2日	本会議 (一般質問)
3日	総務委員会、建設委員会
7日	教育民生委員会、経済企業委員会
16日	予算特別委員会
17日	予算特別委員会
18日	議会運営委員会
23日	議員全員協議会、議会運営委員会 本会議



### 編集後記

市議会だよりの編集に議員が加わるようになって、ちょうど2年になります。福井市議会が、市民の皆様にとって少しでも親しみのある存在になればとの思いから、この市議会だよりを手にとって見てもらえるようにと、毎回意見を戦わせながら進んでまいりました。

この春、福井駅周辺が大きく変わりました。しかし、これはまだ変革の第一歩にすぎません。私たちも、皆様のご意見をいただきながら、未来に思いを馳せてしっかりと議論してまいります。(菅生、西村)

### 請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

### 中継する会議

インターネット  
中継を実施  
しています

- ・本会議
- ・各常任委員会
- ・各特別委員会



福井市議会では、より多くの皆さまに議会活動をご理解いただくため、**YouTube (ユーチューブ) のインターネットストリーミングサービス**を利用した録画放送の配信を行っています。

傍聴に来られない人も、会議の映像をご覧になれます。

※インターネット中継は、福井市議会ホームページからご覧いただけます。なお、この中継は、福井市議会の公式記録ではありません。

次回は  
**6月定例会**  
です。

日程は  
ホームページで  
掲載中です

傍聴して  
みませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。

本会議

(席数：91席 車イス用：6席)

常任委員会

総務・建設・教育民生・経済企業

議会運営委員会

特別委員会

予算・県都の魅力創出対策・  
地域の活力創造対策

議員全員協議会



お問い合わせ

☎0776-20-5506 議会事務局 庶務課